

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 01010011

政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	7	高齢者支援の充実	事業優先度	A		
単位施策	2	生活支援の充実	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	元稲府簡易郵便局存続対策事業		見直し年度			
事業期間	平成29年度		担当課	1 総務課		
事業主体	雄武町		関係課	3 税財管理課		
事業指標	魚田地区における郵便局機能の維持			#N/A		
事業目標	魚田地区における簡易郵便局の存続		ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
住民参加	無		関係例規・法令名			
住民協働			関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	魚田生活改善センター(簡易郵便局事務所)屋根改修				魚田生活改善センター (簡易郵便局事務所)屋根改修 ※H29年度へ繰越	※前年度補正繰越事業	
	事業費(千円)	3,000	0	0	0	3,000	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	3,000				3,000		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	2,895	0	0	0	2,895	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	2,895				2,895		
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	【評価・実績】					簡易郵便局事務所屋根改修	
			※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-終了
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値				簡易郵便局存続	簡易郵便局存続
	第6期計画への継続 (継続無し)	年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	97%
	全体達成率	0%	0%	0%	0%	97%	
	事業進捗状況						

事業名	元稲府簡易郵便局存続対策事業	評価者 管理職 職氏名	総務課長	林 史祥
		評価者 作成者 職氏名	庶務係長	武藤 知憲

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	元稲府簡易郵便局を利用する住民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	所管施設の適切な維持管理	
【抱える課題やニーズは】	経年及び塩害による施設の老朽化等が進行している状況にあり、施設として使用継続するためには、早期に対応する必要がある。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	元稲府簡易郵便局は、魚田地区等の住民にとって必要な施設であることから、使用期間の延命化を推進し、存続させる必要がある。	① 施工施設数/計画施工施設	目標年度	平成29年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	地域住民が安心して利用できる施設として適切な維持管理を推進する。		目標値	1施設
			実績値	1施設
			達成度	100.0%
		②	目標年度	
			目標値	
			実績値	
			達成度	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	屋根改修工事の施工	屋根葺替え改修、軒先・軒天廻りの改修工事、既設集合煙突の撤去、内部天井の塗装工事ほか		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	元稲府郵便局は、魚田地区等の住民にとって必要不可欠な施設であることから、町が存続対策を講じることが必要である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	改修工事の施工は、施設の存続年数を長くする(長寿命化)するものであり、期待する効果は得られていると判断している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	屋根改修工事施工内容は、葺替え改修及び軒先・軒天廻りの改修工事等となりますが、早期に施工対応したことにより、最小限のコストで事業が進められたと判断している。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	地区住民が必要としている施設の改修は、どの地区においても実施していることから公平性は保たれていると判断している。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
施設の存続年数を長くする(長寿命化)目標が達成されたと判断します。		

今後の展開方向
(Action)

終了		
----	--	--

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止